

3D Body Scanner

回転テーブルを使用して 全身を1分以内で3D撮影する



3D ボディスキャナー

人物の横に縦型スキャン装置（2式）を設置し計測します。これらの装置は1台のPCで同時に操作でき、短時間でスキャンが完了します。2式の使用は1式に比べて陰（取り残し）の部分が少なくなり、全体の精度が向上し、データの合成時間が削減されます。計測が極端に難しい部分（ワイシャツの襟首や股下など）では、センサーを手に持ちスキャン（手動による部分計測）ができます。これまで3Dボディスキャナーは、人体のまわりに背丈ほどのスキャナーを複数台、床に配置してスキャンするものでした。設置に時間がかかり、また撮影には広いエリアが必要でした。回転テーブル型3Dボディスキャナーは設置面積が少なく済み、組み立て・設置の作業が不要です。操作は簡単ですべて自動で行われます。スキャンと同時に3Dモデルが作成されます。人物全体のシステム構成は、縦型スキャン装置（2式）、回転テーブルとPCです。もし、上半身のみの計測であれば、縦型スキャン装置は1式となります。

簡単な操作で、計測時間は30～60秒

PCの立ち上げ後に計測スピードなどの設定を行い、スキャンを開始します。回転テーブルに乗った人が回転すると同時に、横に設置した2式のスキャン装置が上下移動しながら計測します。計測時間は30秒程度ですが、データの欠損が無いように往復（1分）でスキャンします。

髪の毛もスキャンできる

従来の高精度スキャナーでは、髪の毛をスキャンできませんでした。これは髪の毛自体が細いこと、またスキャナーが髪の毛1本ごとにモデルを作成しようと試みるためです。これに対して3Dボディスキャナーは、髪の毛全体をひとつの塊りとして捉えモデルを作成します。



3D Body Scanner の仕様

システム構成	縦型スキャン装置(センサー)x2式、計測用ソフト、回転テーブル、PC x 各1式
センサー	カラーフレームレート 30FPS、視野角 58x45°、計測距離 400~1500mm
縦型スキャン装置	上下移動距離 最大940mm、計測時間 約30秒、リモコン操作、スピード可変
寸法と質量、電源電圧	420x300 x1430(H) mm、10kg、100V 50W
回転テーブル	回転スピード可変 (0.25rpm ~ 4rpm)
寸法と質量、電源電圧	55(H)x500(径) mm、13kg、100V 25W
コントローラボックスの寸法と質量	180x140 x110(H) mm、約1kg
出力フォーマット	OBJ, STL, VRML

掲載の仕様は予告無く変更されることがあります。